

◆JMA大学SDフォーラムー2022年度 年間登録費用【申込期限:2022年 5月20日(金)】

- 貴学としての便宜性やご担当者のニーズに合わせて、自由に選択受講いただけます。
- 大学(法人)として年間登録をする事で、ご希望の開催セミナーに参加いただけます。
- 年間28本(予定)のセミナー等について、年間登録費以外の費用等は必要ありません。
- 貴学の人員規模・研修計画などを考慮の上、S・A・B・C・特別メンバーから登録区分を選択ください。
- 各日程セミナーの申込は、本フォーラム専用サイトで、事務局より発行するID、パスワードを使用の上、申し込めます。

登録区分	開催セミナー1種あたりの参加可能人数	登録費用【税込】
Sメンバー	開催セミナー1種あたり1大学(法人)2名まで参加可能	330,000円
Aメンバー	開催セミナー1種あたり1大学(法人)3名まで参加可能	407,000円
Bメンバー	開催セミナー1種あたり1大学(法人)4名まで参加可能	517,000円
Cメンバー	開催セミナー1種あたり1大学(法人)5名まで参加可能	627,000円
特別メンバー (日本能率協会 法人会員限定)	開催セミナー1種あたり1大学(法人)5名まで参加可能とJMA専任講師による個別大学向け学内半日研修の無料実施(*但し1回のみ) ※登録には一般社団法人日本能率協会 法人会員資格が必要です。 (入会費10,000円、年会費100,000円)	792,000円

【登録区分の規定人数以上の参加について】

- ※登録区分の規定人数以上の参加につきましては、定員に余裕がある場合に限り11,000円(税込)/1名にて1大学(法人)につき3名まで参加いただけます。
- 参加者が確定した段階で本フォーラム専用サイトよりご登録ください。仮申込や申込キャンセルは認められません。
- 各大学規定人数合計で定員に達した場合は、参加できないこととさせていただきますので予めご了承ください。
- ※規定人数以上の追加申込参加料金は、年度末に参加セミナー合計金額で申込窓口担当者宛てに請求書を発行させていただきます。
- ※年間登録申込キャンセル規定を本フォーラムHPにて掲載しています。年間登録申込キャンセルは費用が発生しますので、必ずご確認ください。
<http://www.jma.or.jp/edu/school/sdforum/index.php>

FAX 03-3434-0900 必要事項をご記入の上、FAXにて送信ください。

第12期JMA大学SDフォーラム(2022年度)年間登録申込書

VLBAC1001-22T

大学名 (法人名)	所属・役職		
申込責任者	E-mail		
住所	〒	登録区分 ○印 (右の5種より1つ選択)	S・A・B・C・特別
TEL	FAX		
<通信欄>			

【個人情報のお取り扱いについて】

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(www.jma.or.jp/privacy/)をご覧ください。尚、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本研修に関する確認・連絡および小会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

(担当) 一般社団法人日本能率協会 学校経営支援センター <http://www.jma.or.jp/edu/school/>
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL 03-3434-6617 FAX 03-3434-0900 E-mail sdforum@jma.or.jp

申込募集のご案内

2022年度

第12期

JMA 大学SDフォーラム

～大学経営に貢献する組織人財育成プログラム～



年間登録申込期限 2022年5月20日(金)

詳細は HP をご覧ください

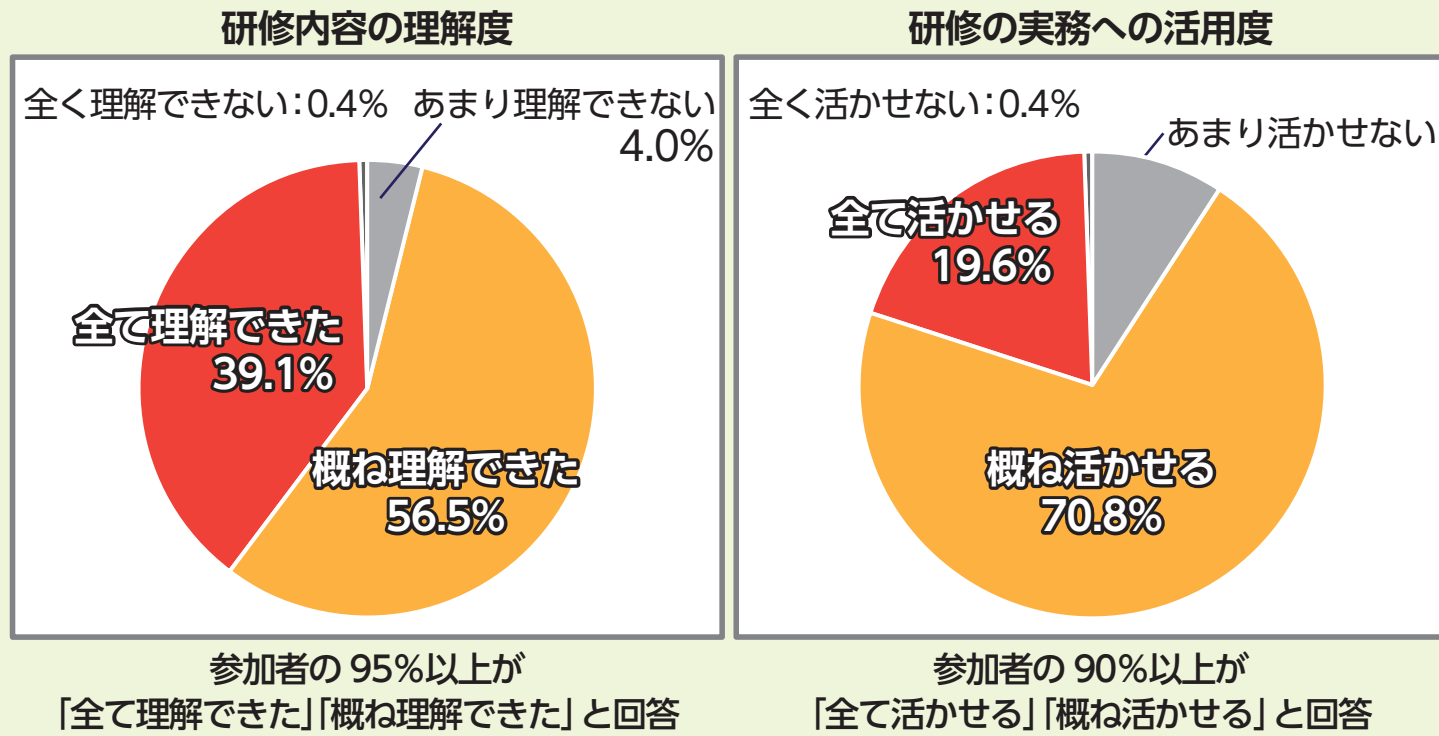
JMA 一般社団法人日本能率協会

<http://www.jma.or.jp/edu/school/sdforum/>

◆前回 2021年度 JMA 大学SDフォーラムの実績

★分かりやすく、実務に生きる研修内容！

2021年度 SDフォーラムにご参加いただいた受講者皆様のアンケート結果から、分かりやすく、実務に生きる研修内容であることが分かります。



★「大学職員」の業務に特化したテーマが人気！

2021年度実施の30テーマのうち、受講者数の多かったテーマのTOP10が以下になります。大学職員としての基本知識や、専門分野別（財務部・IR・教務部・キャリアセンター・学生支援他）のテーマが上位を占めています。また、レジリエンスやデザイン思考、ハラスメントなど、昨今のトレンドテーマも上位に入っています。

順位	テーマ	申込人数
1	教育関係法令の理解と設置認可申請作成や学内規定作成のポイント	98
2	高等教育政策とこれからの大学職員とは	96
3	レジリエンスセミナー	88
4	デザイン思考とは何か？	85
5	管理職のハラスメント対策セミナー	80
6	学生窓口対応力向上セミナー	80
7	企画書・報告書の作成ポイントセミナー	80
8	新卒採用動向とこれからのキャリアセンター	78
9	IRの“新たな”基本と実践的な活用のためのセミナー	77
10	教務部門基本セミナー	76

★今回 2022 年度の新規テーマはこちら

テーマラインナップは、基本的なテーマは継続しつつ、外部環境の変化や実務担当者のニーズを捉えながら、テーマの更新を常に行っています。（右面の開催予定セミナー一覧参照）今回も、大学組織の中核であるミドル層職員に課題を伺い、本フォーラムプログラムに反映しました。2022年度は以下のテーマを新設します。（予定）

- 多様化する学生・変容する学生生活への支援を考察する「厚生補導の基本」
- 次期リーダー層を担う人材を対象に「若手職員の後輩指導力強化」
- 不測の事態への対応やブランド力向上に向けた組織運営を学ぶ「大学におけるリスクマネジメントと広報対応」など

◆開催予定セミナー一覧

各回 2022年7月～12月 13:00～16:30 (予定)
オンライン形式（一部集合形式セミナーあり）にて合計 28テーマ（予定）開催！

※プログラム内容は都合により変更となる場合もございますので、必ず最新情報は公式HPでご確認ください。

セミナー名	講師（敬称略）	プログラム概要
管理職コース		
参加対象：管理職層（次長・課長・課長補佐クラス） 組織運営の中核を担う管理職層に必須のマネジメント力（人の側面・業務の側面）や昨今の社会的要請から押えるべき知識行動のポイントを各単元で学びます。		
1	目標設定・計画化と進捗管理セミナー 日本能率協会 学校経営支援センター 専任講師 船橋 正美	担当部署、担当業務の実務的な目標設定と進捗を計測する計画づくりについて、目標のブレイクダウン、成果指標、プロセス指標、実行計画の可視化等の観点から実務的に研究します。
2	新任管理職のための人事評価・目標管理基本セミナー 日本能率協会 学校経営支援センター 専任講師 船橋 正美	多くの大学において職員の目標管理、能力行動評価等を組み合わせた人事評価の普及が進んでいます。評価者となる管理職を対象として、人事評価の基本的かつ実務的な目標設定・指導視点をケース討議を通じて研究します。
3	実践2回シリーズ：①リーダーの部下指導・育成力を高める～コーチングセミナー～（基本編） スプリングフィールド 代表取締役 春野 真徳	リーダーとしてマネジメントに求められる部下育成・指導の枠組みと実践を通じてスキルを習得するセミナーです。
4	実践2回シリーズ：②リーダーの部下指導・育成力を高める～コーチングセミナー～（振り返り編） スプリングフィールド 代表取締役 春野 真徳	基礎編を終えて、職場での実践で成功体験や失敗体験を共有するとともにさらにスキルアップするためのトレーニングを実施します。
5	管理職が押えるべき労働基準法の基本セミナー HR プラス社会保険労務士法人 代表社員 佐藤 広一	雇用のルールである労働基準法、労働契約法を中心に、部下のマネジメントに関わる管理職として必要な知識を習得するプログラムです。

セミナー名	講師（敬称略）	プログラム概要
専門分野別コース		
参加対象：各部門担当者 大学組織の部門別業務における基礎知識・スキルやキャリア形成を考察する上での事例を現役の大学教職員や有識者を講師に迎え講義します。		
6	大学のハラスメントマネジメントセミナー 代表理事 金子 雅臣	職場におけるハラスメントをめぐる最新事情をもとに、何故大学ではハラスメントが起きるのか、起きた場合にはどのように対処すればいいのかについて実例で考えます。
7	IR（インスティテュショナル・リサーチ）の“新たな”基本と実践的な活用のためのセミナー 大正大学 エンローメント・マネジメント研究所 所長/教授 福島 真司	大学マネジメントにおいて、この10年で急速に拡大したIRですが、近年の高等教育のトレンドと併せて、再評価する必要が生まれています。併せて共にIRの“基本”にも変化が起きている点、本セミナーは、現職のIRの業務と課題を、大学マネジメントのトレンドの中位位置づけ、講義と併せ、短期間の実践的なワークショップも実施することで、IRの理解を深め、IRに対する考え方を深めていただくことのできる内容となっています。
8	大学業務における異文化理解の視点(仮) キャリアオフィス レヨット 岡部 朋子	このセミナーでは、異文化を背景とした物事の捉え方や考え、価値観の違いを確認し、生じやすいトラブル事例を通じて海外留学生対応時の視点を獲得していきます。現代社会に求められるダイバーシティ&インクルージョンについても触れ、必要な構えやポイントについて学びます。
9	大学の経営・研究戦略に資するURA部門とは 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 准教授/U R A 松山 紀里子	本セミナーは、リサーチ・アドミニストレーター（URA）の役割、業務、人物像に関する「URA概論」、大学の経営・研究戦略に資するURA部門の設置形態、運営体制、URAの雇用形態等に関する「組織におけるURA部門」、先行してURA部門を導入している機関の事例に基づく「URA部門による活動事例」の3本の講義で構成します。
10	新卒採用動向とこれからのキャリアセンター 採用コンサルタント/アナリスト 谷出 正直	23年卒新卒採用の企業・学生動向を整理して把握する。キャリアセンターの効果的な取り組み、活動の紹介。
11	教務部門基本セミナー 東京都立大学法人 東京国立産業技術大学院大学 管理課長 宮林 常奈	教務事務1～3年目の職員が理解すべき制度・法令や陥りやすい対応ミスとその解決策について、ワーク形式で考えます。教務事務担当者に求められるコミュニケーションについて、具体的な場面を取り上げて考えます。
12 リニューアル	私立大学の財務IR/管理会計活用セミナー(仮) アクセンチュア オペレーションズコンサルティング本部 シニアマネージャー 石崎 翔	私立大学経営部門の職員を対象とし、学校法人会計の特徴や機能をおさえたうえで、会計情報を経営戦略や経営判断に資する情報としてアウトプットする手法を学びます。具体的には、管理会計や財務IRの領域について理解を深め、インタラクティブなセッションを通じて、現場で実践する手法を学びます。
13 新規	学生募集業務 基本セミナー 日本能率協会 学校経営支援センター 上席研究員 野口 淑	学生募集部署の担当となった方のために、学生募集の基本を具体的に習得いただけるセミナーです。学生募集部署の各種業務の基本的知識を習得します。
14 新規	厚生補導から大学改革期の学生支援まで基本を学ぶ(仮) 講師依頼中	
15 新規	大学におけるリスクマネジメントと広報対応(仮) 講師依頼中	

セミナー名	講師（敬称略）	プログラム概要
スキル別コース		
参加対象：若手職員（入職10年以内）、中堅職員（係長・主任クラス入職10年～） ①コンセプトual・ナレッジ（企画・改革力）②ヒューマン・ナレッジ（人間力）③テクニカル・ナレッジ（業務知識）の3要素を組織人財育成の基本と捉え、実務遂行や改善、職場協働に活かすビジネススキル習得をはかります。		
16	タイム・マネジメント基礎セミナー ソフィアート 代表取締役 笠原 雅人	時間の使い方は成果を大きく左右します。職場で実践できるタイム・マネジメントの考え方を紹介します。業務の性質にふさわしい時間管理のアプローチを解説します。成果を意識したスケジューリングの考え方を示します。
17	実践2回シリーズ：①業務改善入門セミナー（基礎編） アリエールマネジメントソリューションズ 代表取締役 矢代 隆嗣	業務改善の基礎的知識（業務改善の進め方・手法など）を講義とケーススタディで理解し、職場での業務改善実施に向けた「業務改善企画書」を作成します。
18	実践2回シリーズ：②業務改善入門セミナー（振り返り編） アリエールマネジメントソリューションズ 代表取締役 矢代 隆嗣	職場での業務改善によって生み出した成果やその背景を整理するなど業務改善活動を自己評価し、「活動評価シート」を作成するとともに代表者の成果事例発表を参考に今後の業務改善活動へ活かすべき点をまとめます。
19	デザイン思考とは何か？ ジイケイインダストリアルデザイン 取締役 柴田 敬朗	製品のみならずサービスや組織運営等に対して、新たな価値を創出する手法のひとつとして注目されている「デザイン思考」を理解/実践するためのマインドセット・プロセス・手法を学びます。
20	ロジカル・シンキング基本セミナー 日本能率協会 学校経営支援センター 牧野 光昭	ロジカル・シンキング（論理的思考力）の基本を学び、問題や課題を構造的に原因究明するスキル手法などを研究します。
21	企画書・報告書の作成ポイントセミナー 日本能率協会 学校経営支援センター 牧野 光昭	企画書・報告書に必要な不可欠な5W1Hなどの要素と作成方法の基本について、講義・演習を通じて解説します。
22	ファシリテーションセミナー スプリングフィールド 代表取締役 春野 真徳	ロールプレイや実習を通じて、相手の意見を引き出すコミュニケーションスキルや、意見を出しやすい場づくりと結論を導くプロセスを学びます。
23	教職協働力向上のための「報・連・相」基本セミナー ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 尼崎 真実	昨今、教員と職員が協働した学生対応や授業設計が求められています。チームワークを発揮しながら協働するために必要な手法や考え方を習得するため、ケーススタディを交えながらディスカッション形式で学ぶ参加型のセミナーです。
24	レジリエンスセミナー プレイバック・シアター研究所 主任講師 高橋 和美	どのような環境下、状況にあっても受け止めるしなやかさと乗り越えていく強さ、それを支えてくれる仲間を手に入れ、ストレスを自己成長や組織発展のエネルギーに変えたり、抱えきれないストレスは上手に発散しながら、心と身体を健全に保ち、自分らしさを発揮してよりよく生きる為の考え方やコツを持ち帰れます。
25 新規	若手職員の後輩指導力強化セミナー(仮) MANY ABILITIES 代表取締役 野原 秀樹	より良い指導育成を実現させるためには、相手との信頼関係が重要です。また、相手の立場に立った効果的な指導育成スキルを発揮することが望めます。講師からの解説、受講者同士の対話、ワーク、ロールプレイングを通じて、後輩指導力を強化します。
26	教育関係法令の理解と設置認可申請作成や学内規程作成のポイント 法政大学 入学センター 次長 岡田 雅隆	教育関係法令の体系と学内規程の関連を理解し、設置認可申請作成や学内規程を作成するにあたっての注意点を確認していきます。主に私立大学の事例が対象で、実務の全体像を把握することを主眼とします。
27	高等教育政策とこれからの大学職員とは 東京大学 大学院教育学研究科 大学経営・政策コース 教授 両角 亜希子	近年の高等教育政策の動向について概説したうえで、どのように政策動向と向き合い、学内の改革に活かすかを考えます。

セミナー名	講師（敬称略）	プログラム概要
大学事例発表		
参加対象：管理職および中堅職員 話題性や課題認識の高い最新動向やトピックを講演形式で紹介。経営トップ、民間企業など様々なジャンルのテーマを取りあげ登壇いただきます。		
28	大学事例発表	3セッション予定